

2020年12月1日

サッカーファミリーの皆様

一般社団法人 石川県サッカー協会
会長 小石 一寛

近況報告

12月を迎えます。

サッカーファミリーの皆様には、お元気でお過ごしでしょうか。

今年11月21日開催の予定であった「望年会」（ここまでのサッカーを振り返り、ここからのサッカーを展望するサッカーファミリー懇親・交流の集い）を中止とさせていただきます。集いの趣旨を全うする機会をなかなか設けられず、心苦しく思っています。師走を迎える今もまだ全力疾走ではありませんが、石川県サッカー協会（IFA）第10報として「2020年度活動状況報告」をお届けします。ファミリーの皆さんには、各部所の現在の様子も知っていただければと思います。担当理事、委員長からの限られた簡易報告で不十分ですが、情報交換の一助にいただければ幸いです。

コロナウイルスとの戦い

2020年はサッカーに関わる環境や機会が大きく変わりました。2月25日に新型コロナウイルス感染拡大を受けてIFA第1報を発信し、得体のしれない不安の中で歩みを始めました。今もって油断を許さない状況下ですが、既知の情報を基に慎重な対応で活動を進めているところです。

ウイルスの特徴や感染が広がる仕組みなどが明らかになり、ワクチン開発も進み日常生活での注意点などが明確に示されています。国内では人々の動きに呼应して新規感染者数や医療体制など、地域間の違いが出てきました。この地域間の格差は今後、地域に根づいているサッカー活動にも影響してくると思います。今一度、一人ひとりが意識を高く持ち、緩むことなく適切な対応を心がけましょう。

活動のスタンス

IFAは石川県、県内市町、JFA、HSFAからの情報を注視しています。そして、諸事業を進めるにあたり「JFAサッカー活動の再開に向けたガイドライン」第7版（47都道府県サッカー協会/9地域サッカー協会向け）（2020年10月12日）をその指針としています。

JFAガイドラインは、政府方針や上位団体のガイドラインに基づき策定したものであり、各種のサッカー事業再開にあたっての道筋や基準を整理し、また、事業再開時、再開後の感染拡大予防のための留意点を「手引き・チェックリスト」としてまとめたものです。

リスペクトの心

しばらく続くであろうコロナ禍で大切なことは、自身、家族、友人、関わりを持つ方々の健康と命を守ることです。そして、人への誹謗中傷、差別や偏見に向かうことは断じて許されません。

関わりのある全てを大切に思うこと、これが「リスペクトの心」です。サッカーでつながる私たち一人ひとりがメッセンジャーとして「リスペクトの心」を広げましょう。サッカーというフィールドから誹謗中傷、差別や偏見などを排除し、新型コロナウイルスが収束するように共に力を合わせていきましょう。